

1. 事業概要

県営泡瀬団地は、沖縄市泡瀬埋立地の旧海岸線沿いの位置に住戸数160戸、RC造4階建10棟、住棟間に緑地公園、集会場、駐車場を併用した形態で昭和50年に建設された。戸建住宅や共同住宅、農用地が広がる閑静な環境にある。近年、小中学校・児童保育施設・公園・商業施設等が隣接し住環境の利便性が向上してきている。既存の住棟建物の老朽化が著しく、間取りも1戸あたり47.6㎡(3DK)と狭く未バリアフリー化等利便性から近年の住宅事情にそぐわなくなった為、団地全体を建て替える事となった。当団地の自治会を含め周辺地域の自治活動も盛んなことから、老朽化した団地を再生することにより更なる地域活性化を期待されることとなり、以上の条件のもと、設計コンセプトを以下に掲げ設計を行った。

「よりよい住環境の整備」

「地域や周辺環境との調和を図る」

「誰にでも開かれた活力ある空間づくり」

2. 施設概要

所在地：沖縄市桃原

工期：平成20年10月～平成23年7月

構造・階数：RC造 地上6階（住居棟・3棟、渡り廊下棟）

敷地面積：14,701.25㎡

延べ面積：12,008.88㎡



前面道路側 3号棟



3号棟 正面

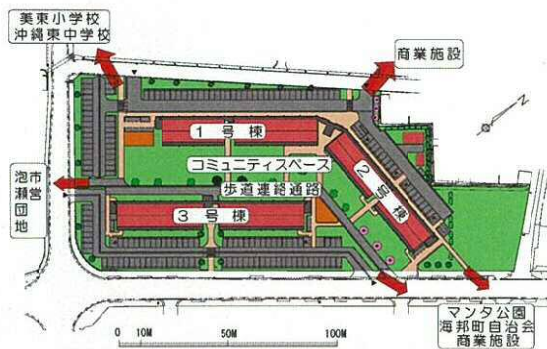


コミュニティスペース

3. 配置計画

団地中央となる1・2号棟と3号棟の間にコミュニティスペースとしての緑地帯を設け、更に外部とつながる連絡歩道を設けることにより周辺の学校、公園、商業施設等へのアクセスを向上させ当団地のみならず、地域の活性化にもつながるように配慮した。

住棟間はプライバシーを最低限保てる距離を確保し、方位的にもできるだけ全室のバルコニーが南側又は南東側に面するように心がけた。



全体配置図



鳥瞰配置図

4. 施設整備方針

住戸数 168 世帯 (3LDK (96 戸:身障者用 6 戸含む)、2LDK (42 戸)、2DK (30 戸))、集会場、昇降機 (3 基)、駐車場 (170 台: 公用車用 2 台) を整備し良好な住環境とコミュニティの形成を目標とする。



2DK



3LDK



2LDK



3LDK(身障者用)

1. 事業概要

コザ児童相談所は、児童を一時的に保護、援助、カウンセリング等を行う施設である。本県では、一時保護を要する児童が増加し続けており、既存施設で那覇市の中央児童相談所一時保護所は満床状態が続いていた。本施設を整備することで一時保護が必要な児童の受入体制の拡充を図るとともに、コザ児童相談所に隣接させることで、児童福祉司や児童心理司と密接に連携し、児童一人ひとりへのきめ細かな援助を行うことを目的としている。

2. 施設概要

所在地：沖縄市知花

工期：平成23年3月～平成23年12月

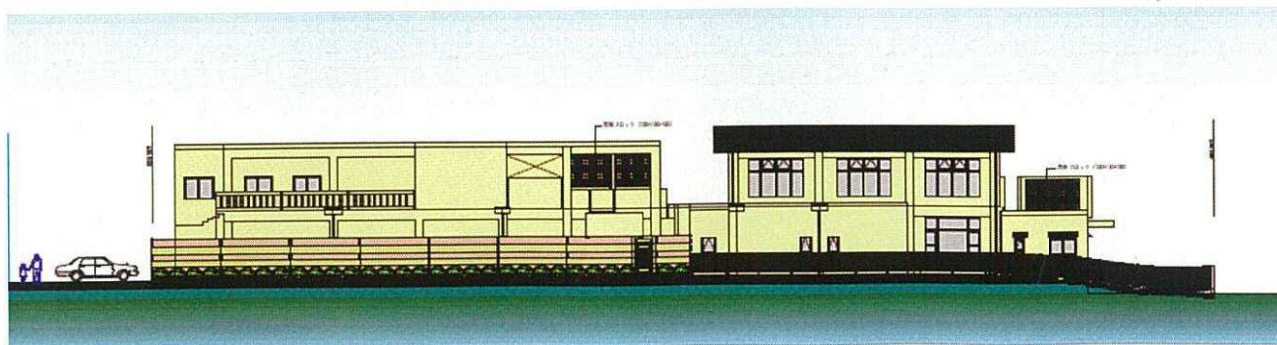
構造・階数：RC造 地上2階

敷地面積：3,222.9㎡

延べ面積：932.93㎡



建物外観



3. 配置計画

本一時保護所は、児童の居住スペースである保護所棟、様々な使用を想定した多目的ホール棟及び厨房棟の3棟で構成されている。保護所棟は男子寮と女子寮に分かれており、木質内装材を使用する事による落ち着きのある住環境の実現と、通風や採光に配慮しつつ外部からの進入を防ぐよう安全を重視した平面計画を行っている。多目的ホール棟は、天井高を高く設定し、バトミントンやバレーボール等のレクリエーションの開催が可能な計画とすることにより、児童の生活環境の向上に寄与する施設となっている。



保護所内観



多目的ホール内観



学習室



厨房



リビング兼食堂



居室

Ⅲ. 主な完成建物 1. 企画部

南北大東地区地上デジタル放送局

施設概要

所在地：南大東村及び北大東村

工期：平成23年2月20日～平成23年7月15日

構造階数：通信用鉄塔

敷地面積：—

延床面積：—

計画概要

沖縄本島から約360Km離れた場所に位置する南北大東地区においては、その地理的要因によりこれまで沖縄県内のテレビ放送を受信することは出来なかった。

沖縄県では、同地区において県内の地上デジタルテレビ放送の視聴環境を構築し、情報格差を是正するため沖縄本島と南大東島間に海底光ケーブルの施設及び地上デジタルテレビ中継局を整備した。

地上デジタルテレビの情報は、光ケーブルを通じて南大東陸揚げ局で受信した後、南大東テレビ中継局から電波により北大東テレビ中継局に発射され、区域内ほぼ全域にテレビ放送を行っている。



南大東テレビ中継局



北大東テレビ中継局



中継局内放送機器

2. 教育庁

(1) 那覇商業高校

施設概要

所在地：那覇市松山
工期：平成21年6月～平成22年4月
構造階数：RC造 地上5階
敷地面積：14,981.02 m²
延床面積：6,986.44 m²

設計主旨

那覇商業高校は、普通教室棟や管理棟等5棟で構成されているが、今回の計画については普通教室棟と産振棟の建替工事を行っている。配置計画においては、狭小な敷地の有効活用とグラウンドの面積確保を目的に、校舎の一部を高層化しつつ高層部を敷地中央に設けることにより、隣地への圧迫感を与えないような計画とした。

平面計画においては、中庭及び吹き抜け部を東西方向に設けることにより、快適な通風と採光の確保を実現した。



全体外観



メインエントランス



中央吹き抜け部

2. 教育庁

(2) 中部農林高等学校（普通教室棟）

施設概要

所在地：うるま市田場

工期：平成22年3月～平成23年4月

構造階数：RC造 地上4階

敷地面積：74,716 m²

延床面積：3,579.68 m²

計画概要

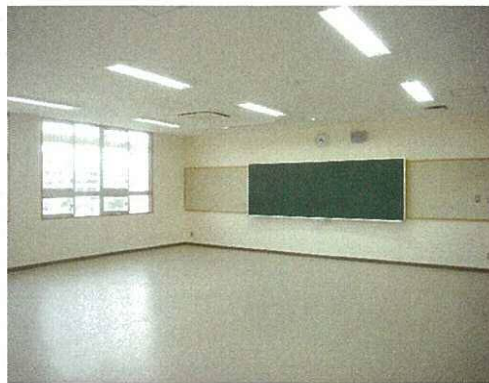
今回の事業は、昭和55年度に竣工し老朽化が進行している普通教室棟の建替工事である。配置計画については、比較的広い敷地を生かし単純明快な配置計画とすること、また、中庭や既存樹木を出来る限り保存できる配置計画を行った。平面計画では、狭小であった各教室面積の拡張を行い、新たに進路指導用の応接室や進路資料室の設置等、施設の利便性の向上を図っている。



建物全景



教室内観1



教室内観2

2. 教育庁

(3) 宮古工業高校

施設概要

所在地：宮古島市平良
工期：平成23年3月～平成24年3月
構造階数：RC造 地上2階
敷地面積：50,934.59㎡
延床面積：1,059.90㎡

計画概要

既存管理棟は昭和52年度に建設され33年が経過しているが、施設の老朽化及び旧耐震基準による建物であることから、危険度の高く早期の建替が必要とされる建物であった。

配置計画においては、管理棟の機能を重視すると共に、正門にした配置計画を行い外部との繋がりを考慮した計画としている。また、平面計画では、既存管理棟が3階建てであったものをあえて2階建てとし平面動線を重視した計画としていることから、バリアフリー化や動線の単純明快化を行った。

また、今回は、既設校舎への渡り廊下についても併せて改築を行った。



全体外観



2階職員室



2階廊下

2. 教育庁

(4) 知念高校

施設概要

所在地：与那原町字与那原
工期：平成 23 年 3 月～平成 23 年 12 月
構造階数：RC造 地上 3 階
敷地面積：32,958.00 m²
延床面積：805.89 m²

計画概要

昭和 54～55 年度に建設された既存の RC 造 3 階建て普通教室棟が老朽化したことから、危険度の解消を目的とし建替による改築工事を行った。設計コンセプトである既設校舎との段差解消及びデザインの調和に基づき、新設校舎の階高を隣接普通教室棟と揃えることで、通路部分の段差を解消し、生徒をはじめ利用する人々にとって利便性の良い建物とした。



北東側外観



普通教室棟内部



1 階通路

2. 教育庁

(5) 与勝緑が丘中学校

施設概要

所在地：うるま市勝連平安名
工期：平成22年12月～平成23年4月
構造階数：RC造 平屋
敷地面積：44,497 m²
延床面積：120.23 m²

計画概要

当施設は、沖縄県立与勝緑が丘中学校専用給食施設である。文部科学省策定の『学校給食衛生管理の基準』に基づき、安全かつ衛生的な施設で、生徒に安全な学校給食を迅速に供給出来るように整備した。内部は、調理施設に必要な下処理室、調理室、洗浄室、消毒室、食品庫、検収室を設置するとともに、管理スペースに栄養士室、便所・シャワーを設置した。



全体外観



調理場 1



調理場 2